

せんなん 議会だより

2020

2

No.72



泉南市議会
令和2年 始動。

No.72 contents

- 泉南市議会から 新年ご挨拶
- 一般質問 12名が市政に問う
- 平成30年度 決算審査
- 議案審議
新役員・委員会構成が決定
- 行政視察報告
- 議案賛否一覧

令和2年 新たな気持ちで頑張ります。

本年もよろしく
お願い申し上げます。

ねずみのように嗅覚を鍛え、
ねずみのように工夫、アイデア、知恵をしばり、
今年も1年、それぞれの目標を達成してまいります。

今年、右記の項目にお答えし、我々のことを少し
ご紹介します。

●掲載項目●

- ①子どものころの夢
- ②休日の過ごし方
- ③今の自分に大きな影響を与えている人物は
- ④なぜ泉南市議になろうと思ったか

公明党 岡田 好子



- ①警察官
- ②～したいと思っていますが決まっています
- ③その都度沢山いらっしやいます
- ④女性の声を届けたいと思ったから

公明党 竹田 光良



- ①子どもの頃は少年野球をし、野球が大好きだったので高校野球での甲子園出場やプロ野球に憧れていました。
- ②休日は家族と過ごすようにしています。特に一人息子とは一緒に遊んだり映画に行ったりドライブなどをして過ごしています。
- ③両親
- ④小さい時から育った泉南市で、お世話になった方々や泉南市に対して自分に何かお役に立てることはないかと思った時に泉南市議にと決意しました。

公明党 澁谷 昌子



- ①デザイナー
- ②料理
- ③学生時代お世話になった恩人
- ④人に会うことが好きだから小さな声を大切にしたい

新政せんなん 河部 優



- ①夢を考える生活環境ではなかったので覚えていない（今の子どもたちには1つでも良いから夢を持ってほしいと思う）
- ②子どもが小さい時はよく遊んだり、公園などに出かけた
- ③今まで出会った人すべて
- ④NPOや社会運動団体等の活動を通じて行政が担う役割の大きさに気づいたから

新政せんなん 金子 健太郎



- ①起業家
- ②読書・映画鑑賞・ランニング
- ③祖父と渋沢栄一
- ④生まれ育ち、お世話になった、地元地域が抱える課題の解決に取り組むたいと思ったので。

自民党市議団 谷 展和



- ①会社の社長
- ②読書やトレーニング
- ③松波 健四郎
- ④松波 健四郎先生の秘書を務める中で、政治に関心を持ち自分の生まれ育った町を少しでも良くしたいと思い泉南市議会議員を目指した。

自民党・創生会 古谷 公俊



- ①パイロット
中学生後半からプロサーファー
- ②最近では災害ボランティア活動が主。食べ歩きや旅行も時間がある時は行っています。
- ③田中角栄元首相とその言葉「必要なのは学歴ではなく学問。学歴は過去の栄光。学問は現在に生きている。」
- ④13歳の時に引越した。学生時代、サラリーマン時代をすごした街、駅を発展させたいから。

日本共産党 和気 信子



- ①沖縄と与論島に橋を架け、パスポートなしで家族旅行をする。
- ②掃除、洗濯、草引きや、家族、友人、地域の方と交流。読書しながらお昼寝。
- ③ヘレン・ケラー
平和を愛した「奇跡の人」
- ④保育園や介護の現場で働く中で、命が大切にされる格差のない社会にしたいと思いました。

未来せんなん 森 裕文



- ①文士
- ②特になし
- ③恩師
- ④成りゆき

無所属 梶本 茂躰



- ①自衛隊または歴史家
- ②市議会議員の仕事は365日休みなし
- ③自分 自己研鑽と自己責任
- ④生まれ育った泉南市が衰退していくのを見かねて何か活性化の力になれないかと思った

自民党市議団 田畑 仁



- ①アラブの石油王
- ②ここ数年休みがない
- ③橋下 徹
- ④この町が好きだから

自民党・創生会 堀口 和弘



- ①自動車のセールスマン
- ②家族と買い物や安くて美味しいお店の開拓
- ③家族
- ④生まれ育った泉南市がもっと明るくもっと住みやすいまちにしたいと感じたから

日本共産党 大森 和夫



- ①公害や戦争がない地球にみんなが仲良く住み続ける
- ②昔) 家族で外遊び
今) 一人で散歩・映画鑑賞
- ③フロド・バギンズ
（「指輪物語」の主人公）
- ④国の悪政から市民の暮らしを守る防波堤になる泉南市をつくりたいと考えた

未来せんなん 南 良徳



- ①学校の先生
- ②疲労回復のためもっぱら寝ています
- ③両親
- ④泉南市の街づくり

無所属(大阪維新の会) 山本 優真



- ①消防士やお医者さん
- ②10月末から父親として育児中
- ③橋下 徹
- ④このままの財政運営では市が持たないと危機感を持ったから

一般質問



各議員から提出された原稿をそのまま掲載しています。掲載順位は質問順です。



スマートフォン等で、二次元コードを読み取ると、録画映像のページへアクセスできます。



一般質問とは、議員自身の考え方や調査・研究をもとに、市政全般の施策について、市長等執行機関に見解を求める唯一の機会です。

堀口 和弘 (自民党・創生会)



【道路施策について】

- ①泉佐野岩出線の現状と今後について
- ②和泉砂川駅周辺の交通対策について
- ③広域基幹農道の現状について
- ④砂川樫井線の今後の開通に向けて

【泉南市の人口・経済指標について】

- ①地域経済分析システム（RESAS）を基に、市の総合戦略の検証・活用方策は？
- ②人口増減率を含め、RESASデータと乖離があるか？
- ③産業特性を見ると、泉南市の経済は脆弱。その対策は？
- ④モバイル空間統計による滞在人口の増加策について。
- ⑤市の人口ビジョンには定住人口を増やす枠組みが欠落している。今後の対策は如何？
- ⑥人口減少を前提とした議論だけでなく、増やす議論をすべき。都市間競争を勝ち抜く方向に持っていくべき。

森 裕文 (未来せんなん)



【泉南市役所のコンプライアンス】について

「コンプライアンス」の本質的目的は、法令や倫理等に基づく活動を定着させ、社会的な信頼性を組織として確保し向上させることにあり、個人より組織に求められるべき。

泉南市のコンプライアンスを問われる問題事件が多発してしまう状況においても、単に形式的に法令を守るに留まらず、積極的に組織の価値や関係価値を高めていく資質が、本質的に求められている。

泉南市のコンプライアンスの根幹は、泉南市行政に対する泉南市民の信頼感を確保し高める努力をすることにある筈。泉南市の組織・職員は、地域全体に対する貢献者として、公平・中立な姿勢が求められている。そこに求められるコンプライアンスの姿勢は、異なる価値観や利害関係に真摯に向き合う地道な姿勢ではないのか。

「組織」の問題を問う。泉南市で立て続けに起きている公金や業務執行に関する不祥事においては、個人の資質の問題に矮小化してはならない。チェック機能が働かない組織は崩壊の一途。現体制で立て直せるのか。無理では？

大森 和夫 (日本共産党)



●学校プール全廃の見直し求める

- 今年プール授業を行った西信中、信達小、砂川小のプールは、費用をかけずに来年度以降も使える。
- 「2学期最初の登校時、日焼けした子どもがいない」という感想が学校関係者から寄せられた。プール廃止は、夏の子どもたちの楽しい思い出作りを奪う。
- 全プールの修理総額は119万円、被害見積額（2,100万円）のわずか5%。教育委員会は全学校プールの被害見積額を約2,100万円としていたが、砂川小・信達小・西信中のプールを使えるように修繕し、他のプールを仮復旧するために使った費用はたった119万円（その内、市が出した費用は約66万円、残りは国の補助金で補う）。樽井小プールなど軽微な被害の施設は費用をかけずに再開できる。
- 東小学校は台風被害なし。教育委員会定例会（19年1月）で「（台風被害のため）なんとか使えそうなプールが西信中、信達小、砂川小の3プール」と教育委員会委員に説明していた。ところが、公表されていない資料で東小学校のプールは台風の被害はなく使用できることが明らかになった。

- 教師の勤務状況を把握し、多忙化の解消を
- 避難所で安心して生活できる環境づくりを
- 済生会新泉南病院の再編統合に反対すること

谷 展和 (自民党市議団)



令和元年第4回定例会において大綱5点にわたり質問しました。

【教育について】

- 1.学校の働き方改革について
- 2.学力向上について
- 3.泉南中学校の現状と課題について
- 4.JETプログラムについて

【公金の不正な取り扱いについて】

- 1.今後の対策について
- 2.人事について

【防災・防犯について】

- 1.自主防災組織の現状と課題について
- 2.防災協定について
- 3.防犯灯、防犯カメラの設置について

【観光について】

- 1.現状と今後について

【泉南阪南共立火葬場について】

- 1.現状について

岡田 好子 (公明党)



1.プレミアム付き商品券について

- ①申請状況 ②今後の対応
- ▶利用可能店舗10月末現在227店舗。対象乳幼児1,496人。非課税世帯6,755人、申請期限は12月27日まで延長。

2.幼児教育・保育の無償化について

- ①無償化を迎えての状況 ②本市の課題 給食や施設改修等
- ▶就学前の児童数2,987人。保育施設利用者数1,783人。領収書兼提供証明書を市独自で作成し負担軽減を。また、国基準以上に保育士配置を頂ける施設には充実した補助金となるよう見直しをする。

3.子ども支援について

- ①児童虐待防止 ②子育て支援ボランティア ③自殺防止対策
- ▶H30年度家児相談310件。児童虐待通告件数394件。「子育て応援団」に30名登録されており、各中学校区に「地域子育て支援センター」を設置。「こころの体温計」の活用や、スクールカウンセラーの配置等を行っている。また子どもの声制度等相談機関一覧を全中学校に配布し支援につなげる。

4.骨髄バンクドナー登録について

- ①ドナー助成制度 ②骨髄移植後のワクチン接種
- ▶推進月間に広報で啓発推進していきたい。本市は条例の中に当該休暇を設定している。本市にもワクチン再接種助成制度がある。

梶本 茂麿 (無所属)



1.泉南市の駅周辺の街づくりについて

- ①和泉砂川駅については。
 - A.牧野区からの陳情書もあり、駅前交通の円滑化や交通結節点機能の強化を図る。
- ②新家駅については。
 - A.駅の海側は市街化調整区域であり、広い空き地がある。駅の山側は第二種中高層住居専用地域であるが、規制があるため低利用地や農地が多数存在する。鉄道駅周辺において生活利便性機能の充実を図る。

2.教育問題について

- ①小中一貫教育と学校統廃合 ②学校老朽化対策
- ③児童生徒数の減少による学校間、地域間の格差（クラス数等）

3.各種団体の補助金について

- ①見直し等の考え方。各団体の自立努力。

4.下水道整備について

- ①今後の見直しは。
 - A.現状の普及率は57.4%。市街化区域内の面積による整備率は55%である。市街化区域、特に信達牧野区は国道26号線からJR阪和線までの間の事業計画区域を設定しているが、かなりの時間を要する見込みで、整備目標完了年度については、社会経済情勢等により大きく整備のスピードが変化するので言えない。市街化区域内の未整備世帯については、くみ取り世帯への補助はあるが、合併浄化槽設置家庭にはほとんど助成が行われていない。

山本 優真 (無所属(大阪維新の会))



【空き家対策】

空き家3件を危険な空き家である「特定空き家」に認定し、除却や略式代執行の検討などの取り組みを進めているとの答弁。

【災害対策】

要望した避難所運営マニュアル改訂版が完成し、今年度中にホームページに掲載するとの答弁。ペット避難所運営マニュアル策定も検討するとのこと。

【学力向上】

中学校での宿題実施の提案を受け、新たな取り組みが始まったが、体系的な宿題実施はできていない。教科研究組織の再編については、一部教科で開始した旨の答弁。

【公金着服問題】

職員による公金着服問題で、現在把握している着服額や、不明金5,300万円に関連する質問をしたが、警察の捜査への影響を理由に具体的な答弁はなし。その姿勢が市民の信頼を損ねている旨指摘した後、10年以上人事異動がなかった人事問題や責任問題についても追及。

【国民健康保険問題】

ミスにより、国と府への返還金が合わせて2億5,000万円発生しており、返還のめどが立っていないことについて追及。一般会計にも影響があり、返還方法についても今後検討するとの答弁。

【学校老朽化問題】

個別施設計画の策定までに、小学校の建て替え、統廃含めた一定の方向性をだした上で令和2年度中に計画を策定するよう要望。

竹田 光良 (公明党)



今定例会における私の一般質問は、以下の大綱3点について質問をしました。

大綱1点目は、公金の不正な取り扱いについて

- ①公金の着服という未曾有の事件に際して、警察の捜査状況について。②行政内における調査の進捗について。③5千万円の不明金等について。④し尿汲み取り券の現金に関する取扱いでは、具体的な集金業務の流れや着服がどの時点で行われたかなどを質問しました。

大綱2点目は、教育について

- ①来年から導入予定のJETプログラムについて。②学校施設の老朽化について。③古川教育長へ、現場で見たこと感じたこと、泉南市の教育行政に何が必要なのかをお聞きしました。

大綱3点目には、兎田井堰について

- ①樫井川に設置されている、兎田井堰は堰幅42m高さ1.4mで共用年数は30年を超え、ゴム堰部分と施設が老朽化しつつある。仮にこの兎田井堰が稼働しなくなれば、兎田地域の農業に大きな影響があるが、今後の市としての対策と工事費捻出の為の対応について質問しました。

一般質問

古谷 公俊

(自民党・創生会)



- 1.高齢者のサービスの充実について**
※過疎化する住宅地域へのコミュニティバスの本数を増加出来ないのか？
※高齢者への免許返還後、市の独自対応策は？
※福祉有償運送について地域に住む高齢者応援や移動活動の応援について
- 2.災害に強い街づくりについて**
※台風15・19号で今回、他府県／大災害について市の思いは？ 今後の取り組みについて
※去年、全国から多くの寄付金や支援を頂いたが、今回は市として支援物資や寄付、又は応援を行ったか？
※去年からの教訓を活かし防災協定を積極的に行ったか？
- 3.市民中心の効率的な行政サービスについて**
※ゴミ袋 ネーミングライツ活用
※ゴミ収集車 ネーミングライツ活用
※市の中高層マンションのごみ収集BOX破損時の補助金制度
※ゴミ袋の値引きや市民負担の応援について
- 4. JR和泉砂川再開発について**
※市所有地有効活用、売却予定は？
※過去購入に至った経緯は？
※ホーム駅舎・自由通路橋上化実現に向けて市の考えは？
※民間有志団体への協力の是非は？
※大型スーパー開設にあたり今後の交通混雑等の対策は？

和気 信子

(日本共産党)



- 1.「くみ取り券」**
公金の不正問題の全容解明と再発防止を強く求める
- 2.「泉南市子どもの権利に関する条例」の居場所づくりについて**
(子どもの声から)
●夏休みに安心して外遊びができる児童館的環境を。
●「プールに遊びに行きたい」子どもの切実な思いを受け止め、来年度は一般開放の再開と居場所の充実を！
- 3.自治体のジェンダー平等について**
●女性の就業者は非正規や低賃金が過半数。正規職員や女性の幹部職員を増やし男女が生き生きと活躍できるよう取り組むこと。
●あらゆるハラスメントを禁止する条例のもと、市も防止や相談体制の整備周知を図ること。市民への措置義務に係る啓発を行うこと。
- 4.負担増になる介護保険制度改正について**
●上がり続ける保険料・ケアプランの有料化等、負担増にしないよう求める。
●特別養護老人施設の待機者対策を求める。(待機者は114人)
- 5.水道料金の福祉減免について**
企業団へ移行後の福祉助成制度への影響は。
○減免は2分の1から4分の1。
○対象者は継続世帯のみ、新規は対象外。
○期間は2年間、助成制度の充実を求める。



澁谷 昌子

(公明党)



- 1.ロタワクチン定期接種化について**
①今後の取り組みについて
→対象者へは個別にはがきで案内すること。(年度途中につき)
- 2.花から育む地域共生社会の実現について**
①障害者の学校園への花植えを通して雇用と地域交流の推進に繋げる取り組みを訴えた
- 3.生活困窮者支援について**
①ひとり親世帯(特に母子世帯)の住宅支援について
②障害者の生活環境支援について
- 4.防災について**
①液体ミルクの導入について
→本市としては災害用備蓄の次期更新時(令和2年3月中)にローリングストックの手法を活用し備蓄を進めるとの答弁。
②「子ども防災手帳」の作成と活用について
→子ども達に対する効果的な情報発信や導入の手法やタイミング等について教育委員会とも情報共有しながら検討するとの答弁。
- 5.青色パトロール車装備について**
①「後付け安全装置」設置の必要性について
②ドライブレコーダー搭載について現状と今後



河部 優

(新政せんなん)



- ＜教育問題について＞
- ①教育大綱の改定について**
【答弁】教育大綱はすでに改定作業が終わっている。
 - ②教育振興基本計画の改定について**
【答弁】教育振興基本計画は2020年3月末までに改定する。
 - ③生涯学習推進プランの策定について**
【答弁】生涯学習推進プランは第5次総合計画にも示しているので計画内には策定しない。
 - ④外国人児童生徒の就学状況と日本語指導について**
【答弁】本市における外国人児童生徒の不就学はない。日本語指導など支援策を検討したい。
 - ⑤識字推進計画の策定について**
【答弁】識字推進計画は今後検討したい。
 - ⑥小中一貫校の取り組みについて**
【答弁】小中一貫校の取り組みは2020年3月末までに一定の案を示したい。
- ※その他にも子どもの相談・救済機関の設置や市制50周年の取り組み等を質問しました。



予算の使い方・成果・効率性を議会がチェック 平成30年度 泉南市各会計歳入歳出決算認定



平成30年度決算書、主要施策等の成果説明書などを基に、決算委員会において慎重に審査を行いました。決算委員会は、見直しが必要と思われる事務や事業、要望などを市に伝え、解決策をさぐり、今後の業務改善につなげる重要な役割を担っています。泉南市が前を向いて進めるよう、今よりも財政の視点をもって行政運営が行えるよう、さまざまな議論を行いました。

議論の焦点ー し尿くみ取り手数料・国民健康保険調整交付金

泉南市の今を
皆さんに
知ってもらいたい。

●職員による公金の一部不適切な取り扱いが判明 し尿くみ取り券販売に係る業務
→議会は、今事象の背景の解明と、再発防止を目的に議論している！

【指摘①】
警察への協力のためにと答弁を控えている。答弁を制限する基準を明確に。警察への捜査協力は大事だが、警察への付度では。
【答弁】
法令で定めた基準は特になし。泉南警察署に確認したところ、市が調査した内容や、横領の金額は捜査に支障をきたす可能性があるため、控えてほしいとのこと(抗弁、使途に関しての証拠、罪証隠滅のおそれから)。全容解明には警察の捜査に委ねるのが最適だと考える。

【指摘②】
し尿くみ取り手数料の決算書に記載された内訳が普通券のみで処理されており、内容が不透明では。

【答弁】
書類が一部残っており、明細が不明。平成30年度の決算額はこれが全て。

【指摘③】
くみ取り人口が減少傾向なのに、平成29年度はくみ取り量の値が跳ね上がっている。大阪府、全国とは全く違う傾向であるがその根拠は。

【答弁】
雨による浸水被害の影響で浄化槽が破損し、くみ取りを行った地域があり、相当量のくみ取りを行ったと記憶している。詳細は調査し、報告する。

●平成29年度国民健康保険調整交付金の申請誤り その後平成27年度・28年度の過剰請求も判明
→国保赤字解消計画のシミュレーションは揺らぎ、他の会計、他の計画全てが揺らいだ。結果の見えない決算。チェック体制の徹底等過去の教訓を生かしていない！

【指摘】
調査中だとしていた平成29年度以前の分も既に判明していた(総額約4億9千万円)。赤字解消計画の見直しなど、今後のスケジュールは。
【答弁】
国保会計からの返還を基本的には考えていく。令和6年度の完全統一化までの赤字解消には、一般会計にも影響がでてくる。現在の赤字解消計画と整合しないため、早急に見直し、修正していく。

反対討論
し尿くみ取り券売上金の横領事件は明らかに庁内組織のガバナンスの問題。2年前の全庁的な公金の取り扱いの見直し議論、再発防止策を講じた教訓は全く活かされなかった。
市長に対し、被害総額等の全貌解明と、徹底した原因究明、人事異動の規定等組織の再構築に向けての取り組み、市民への説明責任を果たすよう要請し、反対。

反対討論
し尿くみ取り券売上金の着服問題では、職員が実質1人体制で料金収入事務を担当。約5,300万円の赤字不明金があり、全容解明の見通しはたまた正しい審査ができない。また、国民健康保険調整交付金の申請誤りも判明し、組織の最高責任者である市長の責任は大きい。貧困格差の問題等教育問題も山積み。市民目線の行政、市民への情報公開を強く求める。

反対討論
し尿くみ取り事業に関する公金着服問題に絡み、決算書に正しい数字、内訳が記載されておらず、適切な業務管理ができていなかった。ずさんすぎる管理体制、人事体制、組織体制が原因で問題が引き起こされた側面もあり、議会及び市政に混乱をきたしていることを市はこれまでにないほど強く受け止めてほしい。また、国民健康保険についても赤字解消計画を基に計画され事業実施されて算出された本決算の数字は多額の過剰請求問題が判明したことで屋台骨が完全に崩れた。これら決算は到底認定できない。



決算は、議会の認定を受けて確定します。決算不認定の場合、地方自治法に基づき、その結果を踏まえて必要と認める措置を講じたときは、議会に速やかに報告するとともに、市民に公表することが市長には義務付けられています。

議案審議

提出された議案の中から、主な質疑、討論を要約してお知らせします。
全ての議案の賛否一覧は11ページに記載しています。



12月9日日本会議4日目録画映像
(議案の提案理由及び質疑等)



12月25日最終本会議録画映像
(委員長報告、討論及び採決)

1 本市に企業の立地を行う事業者に対し、奨励措置を講じます。(令和2年4月1日から)



●主な内容●

- ・従来の泉南市企業誘致促進条例(りんくう南浜に事業場を新設する企業に対しての奨励措置に関する条例)は廃止します。
 - ・固定資産税減免を主とする助成措置を行い、既存業者の新たな増設、建て替え等も対象に。
 - ・製造、スーパー、卸売り等も奨励対象にし、他市とも差別化。幅広い業種を募ります。
- ※条件を全て満たした事業者、土地所有者に限られます(学校、救急医療機関等は除く。)



2 市役所健康福祉部を、「福祉保険部」と「健康子ども部」に再編します。(令和2年4月1日から)



●改正の主な内容●

- 「福祉保険部」・・・生活保護等の福祉行政関係や、国民健康保険、介護保険、国民年金に関することを担当します。
- 「健康子ども部」・・・保健センター機能や保育業務、また虐待関係の窓口など児童の福祉及び育成に関することを担当します。

市役所業務窓口のエリアが集約。相談等がスムーズに。



3 人事院勧告に基づく一般職の職員の給与改定等に準じて、期末手当の支給月数を引き上げます。(令和元年12月1日から)



市議会議員に対して支給する期末手当の年間支給月数を0.05引き上げます。(12月期に集約)

4 平成30年度決算からみる 泉南市の財政状況は...



- 歳入：249億6,886万8千円
(対前年度比 14億2,350万2千円 6.0%増)
- 歳出：249億1,078万4千円
(対前年度比 13億8,215万6千円 5.9%増)

●経常収支比率100.1%
(市の「借金」も収入額として加えて計算しています)

新火葬場、泉南中学校建て替えなどで歳出増に。

比率が低いほど◎。つまりこの数値が100%に近いと、収入で支出が賄えていません!

泉南市の状況を家計におきかえればー給料などの経常的な収入に対し、食費や家賃などの生活費や教育費など、経常的な支出割合が大きくなると、突発的な病気、けが等で急な出費が必要になったときの弾力的な対応が困難です。

ちなみに平成30年度議会費決算は
2億1,462万9千円

- 例えばこんなことに使われました。
- 議員報酬・期末手当 1億2,320万6千円
 - タブレット端末導入・運営費用 202万9千円
(端末レンタル・会議用システム等)
 - 行政視察時の旅費 155万8千円
(随行含む 議員1名につき年2回)

5 (仮称)泉南市営りんくう公園内に温泉を有する施設(合宿所)の新設に伴う入湯税について

泉南市初



議論の背景

●入湯税とは...

地方税法に規定された、鉱泉浴場の入湯客の、入湯行為に市が課税する必要のある税。環境衛生施設や、消防施設の整備、温泉の泉源の保護管理、観光の振興などを目的に、使いみちが決められている『目的税』。課税団体数は全国900を超えるといわれています。



- 納める人や、金額は・・・ 入湯客が納めます。日帰りの場合75円、宿泊の場合150円。
- 納める方法は・・・・・・・ 施設の利用料金とともに、施設経営者に支払います。

※その後、施設経営者が市町村に支払います。

委員会での主な質疑内容

りんくう公園は泉南市民の憩いの場であるべき。インバウンドへの視点だけでなく、市民サービスの観点から減免の考えは、

減免は12歳未満の子どもや福祉施設等に限定している。将来的には市民に対しての減免も検討すべきと考える。

府内でも、学校教育上行われる行事の場合課税免除されているケース等があるが、他市の研究は、

入湯料金が1,000円未満の場合等や修学旅行で使用する場合など、府下30団体中1/3程度の団体で課税免除の規定を設けているのは承知している。

歳入の見込額は、

2018年度の簡易宿泊の全国平均稼働率を参考に、年間約320万円程度を見込む。

今回、主な対象者は合宿所の学生であることから、配慮が必要では。

災害時の利用は可能か。

事業者に対し、当然で協力いただけるよう話し合いを進めていく。

使いみちが決められた入湯税の目的からも、公平にご負担をいただきたい。

近隣市にも、障害者や高齢者等の課税免除の規定がある。スタートするにあたって、課税免除等きちんと議論する必要性を指摘。

新役員・委員会構成が決まりました

議長	南 良徳	副議長	金子 健太郎	監査委員	梶本 茂麿	委員長	森 裕文	副委員長	河部 優	委員	岡田 好子	議長運営委員会	谷 展和 古谷 公俊 和気 信子
委員長	田畑 仁	委員長	堀口 和弘	委員長	古谷 公俊	委員	谷 展和	副委員長	山本 優真	委員	岡田 好子	委員	谷 展和
副委員長	山本 優真	副委員長	谷 展和	副委員長	山本 優真	委員	岡田 好子	委員	河部 優	委員	梶本 茂麿	委員	梶本 茂麿
委員	河部 優	委員	金子 健太郎	委員	河部 優	委員	梶本 茂麿	委員	岡田 好子	委員	梶本 茂麿	委員	堀口 和弘
厚生文教常任委員会	古谷 公俊 澁谷 昌子 和気 信子 森 裕文	総務産業常任委員会	梶本 茂麿 竹田 光良 大森 和夫 南 良徳	行財政問題対策特別委員会	澁谷 昌子 大森 和夫 田畑 仁 森 裕文	委員	堀口 和弘 竹田 光良 和気 信子	委員	古谷 公俊 山本 優真 河部 優	委員	梶本 茂麿 堀口 和弘 竹田 光良 和気 信子	委員	谷 展和 岡田 好子 梶本 茂麿 堀口 和弘 竹田 光良 和気 信子

役員選任は毎年11月上旬に行います。是非傍聴にお越しください!

行政視察報告



総務産業常任委員会

●8/7 宮城県岩沼市● 岩沼市復興整備事業について



平成23年3月11日に発生した東日本大震災。被災地となった岩沼市の迅速な復興整備事業を調査研究。

- 災害FM放送による情報発信 → 震災当日から
- 市役所広場の備蓄タンク等による水の供給 → 震災当日から
- 緊急生活支援金の支給 → 震災1週間後から
- 災害住宅手当の支給 → 平成23年4月1日から
- 震災復興計画の策定 → 平成23年4月から順次策定

→→→スピード感をもった対応は素晴らしく、泉南市においても将来南海トラフ大地震の発生が予想される中、今からどういった対策が必要で、何をすべきなのか大変参考になる事例である。



復興のシンボル
「千年希望の丘」

震災の津波により人が住めなくなった土地を活用し、6つの公園と園路を整備。

→→→「減災」の考え方のもと、「多重防御」による津波対策を導入。多くの人がすまやかに避難できる手段を用意。

●8/8 宮城県名取市● 住みよさランキングでみる名取市について

平成27年から平成30年までの「住みよさランキング」では全国上位（4位～11位の間でランクイン）を占める。安心度・利便度・快適度・富裕度を指標に、震災以降、人口は順調な増加傾向で推移。仙台空港を市域に有し、またイオンモールがあるなど、泉南市と類似。



被災した閑上地区の大規模再生事業により、定住促進アピールが成功。子育て世代の流入が増加。

空港所在地という特性をどう活かすか。インバウンドの取り込みには課題が多く、今後の検討材料となっている。



空港等まちづくり対策特別委員会

●8/20 北海道恵庭市● 稼げるまちづくりの取り組みについて



優れた交通網を武器に、平成18年の道と川の駅「花ロードえにわ」と「えこりん村」の開業を契機として観光客数が大幅に増加。

また、内閣府が「稼げるまちづくり」の有望事例として恵庭市の取り組みを紹介。道と川の駅「花ロードえにわ」での「花の拠点」整備により花のまちづくりを推進している。「花笑み・せんなんプロジェクト」を推進する泉南市も参考になるまちづくりの先進事例。



恵庭市が積極的に取り組んで成功を収めている、北海道発祥の「カントリーサイン」。市町村の名物・名所・特産品などをモチーフにデザインしており、道路のランドマークのひとつとして親しみと誇りの道路環境づくりを目指している。

●8/21 北海道石狩市● 道の駅石狩「あいろーど厚田」について

平成27年1月に、重点「道の駅」に選定される。（国交省モデル事業）オープン半年で50万人を超える客数を記録し、特産品とのタイアップや有効なPR活動で市の魅力を発信中。



泉南市では、埋蔵文化財センターと道の駅を合築させる等公共施設との融合を提案できるのでは。

行財政問題対策特別委員会

●10/9 愛知県一宮市● 市税業務におけるRPA実証実験について

RPAはミスなく24時間働き続けます！

●10/10 長野県塩尻市● RPA・AIの活用について(保育業務・学校チャットボット)

近い将来、我が国の労働力が絶対的に不足し、本市をはじめとした自治体職員数の減少も加速。令和6年から令和11年の間に労働人口の約半分が自動化されるといわれる中で、RPA(=パソコン上で事務を行うロボット)やAI(=人工知能)が処理できる作業は全て自動化し、人間でしかできない業務に職員が注力できる様な「スマート自治体」を実践する2市を視察。



■一宮市→市税業務にRPAを導入。約40%の業務時間削減を実現。他業務にも導入を検討中。

■塩尻市→保育業務にRPAを導入。約40%の業務時間削減を実現。更に、学校に関する質問に24時間問い合わせ可能なチャットボット(AI)を導入。学校現場の働き方改革を実施するとともに、市民にとっても手軽さが好評を得ている。



RPA導入が目的ではなく、「業務改革の手段としてのRPA」と捉え、職員が心をひとつに同じゴールを目指すことの大切さを痛感。前例踏襲ではない、新たなスタートを切る勇気が必要だと感じた。

【議案賛否一覧】 賛否 (○:賛成、×:反対、■:退席) - : 報告事項のため、採決はとりません。

議案番号	案件名	結果	公明党		新政 せんなん		自民党 市議団		自民党 創生会		日本 共産党		未来 せんなん		無所属	
			岡田 好子	竹田 光良	瀬谷 昌子	河部 優	金子健太郎	谷 展和	田畑 仁	古谷 公俊	堀口 和弘	和気 信子	大森 和夫	森 裕文	南 良徳	梶本 茂麿
泉南監報告 第15~17号	例月現金出納検査結果報告	報告済	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
選挙第5号	泉南市選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について (委員→奥俊光氏、辻正夫氏、市道隆久氏、大家清美氏 補充員→古谷美枝子氏、梶本悟氏、稲岡衣代氏、岡本まゆみ氏)	4名ずつ 当選	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
報告第1号	平成30年度決算に基づく泉南市健全化判断比率について	報告済	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
報告第2号	平成30年度大阪府泉南市下水道事業特別会計決算に基づく資金不足比率について	報告済	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
報告第3号	平成30年度泉南市水道事業会計決算に基づく資金不足比率について	報告済	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第1号	泉南市教育委員会委員の任命について (数内 進氏)	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	泉南市公平委員会委員の選任について (佐野 隆久氏)	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号	泉南市固定資産評価員の選任について (山上 公也氏)	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号	裁判上の和解について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	裁判上の和解について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号	泉州南消防組合規約の変更に係る協議について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号	会計年度任用職員の給与等に関する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号	泉南市入湯税賦課徴収条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	泉南市企業立地促進条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	泉南市下水道事業の設置等に関する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号	泉南市事務分掌条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号	泉南市附属機関に関する条例及び報酬及び費用弁償条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第13号	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第14号	泉南市三世同居等支援のための固定資産税特別措置に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第15号	泉南市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第16号	泉南市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第17号	泉南市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第18号	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第19号	泉南市国民健康保険条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第20号	市営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第21号	泉南市下水道条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第22号	令和元年度大阪府泉南市一般会計補正予算(第6号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第23号	令和元年度大阪府泉南市樽井地区財産区会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第24号	令和元年度大阪府泉南市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第25号	令和元年度大阪府泉南市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第26号	平成30年度大阪府泉南市一般会計歳入歳出決算認定について	原案不認定	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
議案第27号	平成30年度大阪府泉南市樽井地区財産区会計歳入歳出決算認定について	原案認定可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 第28~37号	平成30年度大阪府泉南市狐池財産区会計歳入歳出決算認定について ほか9件	原案認定可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第38号	平成30年度大阪府泉南市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	原案不認定	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
議案 第39~41号	平成30年度大阪府泉南市(下水道事業・汚水処理施設管理・介護保険事業)特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 第42~43号	平成30年度大阪府泉南市(後期高齢者医療事業・公共用地取得事業)特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第44号	平成30年度泉南市水道事業会計決算認定について	原案認定可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第45号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第46号	泉南市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第47号	令和元年度大阪府泉南市一般会計補正予算(第7号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第48号	令和元年度大阪府泉南市下水道事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第49号	令和元年度大阪府泉南市介護保険事業特別会計補正予算(第4号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第2号	JR新駅南地区の安全なまちづくりに関する請願書	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
議員提出議案 第4号	「あおり運転」に対する厳罰化とさらなる対策の強化を求める意見書について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
閉会中の継続調査について		継続調査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
日程追加	竹中勇人泉南市長に対する問責決議について	原案可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長職を執り行うため、賛否に加わりません。議長は賛否同数のときのみ採決し、議案の可否を決定します。



「あおり運転」に対する厳罰化とさらなる対策の強化を求める意見書

本年8月、茨城県の常磐自動車道で、男性が執拗なあおり運転を受けて車を停止させられ、容疑者から顔を殴られるという事件が発生した。また平成29年6月には、神奈川県内の東名高速道路において、あおり運転を受けて停止した車にトラックが追突し、夫婦が死亡している。こうした事件・事故が相次ぐ中、「あおり運転」をはじめとした極めて悪質・危険な運転に対しては、厳正な対処を望む国民の声が高まっている。

警察庁は、平成30年1月16日に通達を出し、道路交通法違反のみならず、危険運転致死傷罪や暴行罪等のあらゆる法令を駆使して、厳正な取り締まりに取り組んでいるが、いわゆる「あおり運転」に対する規定がなく、防止策の決め手とはなっていない。今後は、あおり運転の厳罰化に向けた法改正の検討や更新時講習などにおける教育のさらなる推進及び広報啓発活動の強化が求められるところである。

そこで政府におかれては、今や社会問題化している「あおり運転」の根絶に向け、安全・安心な交通社会を構築するため、下記の事項について早急に取り組むことを強く求める。

記

1. 「あおり運転」の規定を新たに設け、厳罰化については、危険運転を行った場合のみでも道路交通法上、厳しく処罰される海外の事例なども参考としながら、実効性のある法改正となるよう、早急に検討を進めること。
2. 運転免許更新時における講習については、これまでの交通教則による講習に加え、あおり運転等の危険性やその行為が禁止されていること及びその違法行為に対しては取締まりが行われることについての講習も行うこと。また、更新時講習に使用する教本や資料などに、これらの事項を記載すること。
3. 広報啓発活動については、あおり運転等の行為が禁止されており、取締まりの対象となることや、「あおり運転」を受けた場合の具体的な対処方法などについて、警察庁及び都道府県警察のホームページ、SNSや広報誌などを効果的に活用し、周知に努めること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和元年12月25日

泉南市議会

意見書を提出しました

12月25日の最終本会議にて左記意見書を上程し、採決の結果、全会一致で可決となりました。

可決された意見書は、泉南市議会からの意見・要望として、国会や、国・府の関係行政庁宛に提出いたしました。

<提出先>

内閣総理大臣・国家公安委員会委員長



12月25日 最終本会議の録画映像
(提案者による説明等)

市長 問責決議を可決

最終本会議において、森 裕文議員外3名の賛成者から「竹中勇人市長に対する問責決議」を提出しました。

提案理由及び趣旨説明を提出者である森裕文議員から行い、約30分に及ぶ説明・質疑・討論の末、賛成多数(12対1)で可決となりました。



●問責決議●

法的拘束力をもつ不信任決議とは異なる。自治体の首長や議員による言動について、責任を問う必要があると判断する場合に提出されるものであり、出席議員の過半数以上の賛成で可決となる。

【提出理由及び趣旨説明 要旨】

公平公正で健全な市政運営を待望する泉南市民にとっては、竹中市政下での一連の不健全な不祥事件の発覚は、誠に遅きに失した感は否めないが、ポジティブに転じてターニングポイントと捉えれば、泉南市再生の黎明になり得ると言えるのかも知れない。私たちのミッションはこれから始まるだろう。

し尿くみ取り券に係る横領事件で15年間のうちにあけられた5,300万円もの大きな穴。国民健康保険調整交付金の申請誤りでもらえずしてしまった約4億9,000万円。

竹中市政は一体いつまで連鎖的負の遺産の整理に勤しまなければならないのか。ここまで職員のモチベーションを低下させてはもはや生産性の方向に向かわせることは市長の手腕では不可能ではないのか。大きな反省をしていただきたい。反省以上のことも期待する。ガバナンス以前の問題として、部下が悪いと怒っているうちは組織改革は無理。

市長は積極的に市民の前に出て、市民の理解を得る努力をすべきであるが、その意欲が明らかに欠けている。一部を除く市民・議会を軽視していると受け取られても致し方のない要因がそこにある。

市民の負託を受けた議会は、市長の責任を問う責務がある。そして議会のチェック機能が果たせず、その責任はやがて市民によって問われるものと考えます。

我々はこの組織の問題を速やかに解明し、崩壊した組織の立て直しを図り、2度とこのような事件が起きない体制にしたい。それが我々市民・議会の目的であり願い。

市長は先ず市民に組織としての不祥事を組織の長として謝罪し、説明責任を果たしなさい。トップに自覚がなければ組織は本当に完全に崩壊する。ご忠告申しあげて泉南市役所を再生が困難な組織に追い込んでしまった竹中市長の責任を問う。

●編集後記●

3年連続で議会報編集委員長となりました、山本です。編集委員長としての年間目標は、1人でも多くの方に議会だよりを見ていただけるよう、新たな取り組みを実施することです。本年もよろしくお願いたします。

令和元年 台風19号被害への義援金を送付しました。

(R1.11.29 全国市議会議長会あて)

被災地復興の一助とするため、議員互助会費(私費)から義援金10万円を送付しました。